



CHANG子ども地球大学（埼玉県川口市）

・小学校と市民パートナーシップで開催

6月28日（火）

川口市立東領家小学校

【カンボジアってどんな国？】

普段は児童館で定期開催している外国とSDGsのお話し会「CHANG子ども地球大学」。今回は小学校からの依頼で、6年生の国際理解のクラスで授業をしてきました。

まずは動画を視聴。きれいに発展している首都の様子。しかしその近所には日本では見ることができないスラム街が点在します。多くの国がそうですが、急速に発展した地域にはスラムがあります。建設には地方から多くの労働者が集まります。都会での仕事や生活に夢を持って来るのですが、低賃金な上に家賃が高く、また知識が少ないので家を借りられるような収入が得られる職には就けないのです。そうした方がスラムを作り、そこには学校も行くことができません。そこに学校も行くことができないに働かせる子供がいるのです。イカを焼いている女の子は私が実

際に会って来た子です。学校に行っていないとすれば6年生。3年生までは学校に行っていたのですが、親の仕事を手伝うため学校に行かせてもらえなくなっていました。「今の夢は？」と聞くと、「前みたいに学校に行きたいな。また友達と勉強したいな」と話してくれました。



3年生までは学校に行っていた少女

工事現場でゴミ拾いをしていた女の子は家族で地方から出てきて、ビルの建設現場に小屋を建てて生活しています。このビルが完成したら次の現場へ行くので、学校に入学することができないのです。「学校に行きたいって思う？」と聞くと、「こ

の生活の方がいい」と言っていました。それは近くにいた母親に気を使って言ったように聞こえました。



工事現場を転々とする生活

小学校に行くことすらが夢であるという同世代が世界にはたくさんいるのです。6年生は、こうした日本では見ることができない同じ世代の子どもの姿を真剣に見ていました。

LINEでつながろう！

そして初めての企画。「カンボジアとLINEビデオでつながって友達になろう！」しかし約束の時間になってもLINEがつながりません。これもいい経験。外国では日本のようにどこでも直ぐにWiFiが使えるわけではありません。現地

スタッフが近所からルーターを借りてきてやっとスタート。

私「ではつながったので、話してみたい人は前に来てください」・・・みんな緊張してしまったのか誰も前に出てきません。

私「せっかくなので機会ですから・・・」

すると女子が「二人で話してもいいですか？」と友達と一緒に話し始めてくれました。スタッフが訳します。

女子「日本人の印象は？」

カンボジア「笑顔がすてきです」

女子「えっ・・・そうなんだ！」



カンボジアの子ども達も緊張ぎみ

だんだんリラックスしてきたところで男子グループと交代。

「好きなスポーツは何ですか？」

カンボジア「サッカーです」

男子「おっ！ サッカー！ 一緒！」
そしてカンボジアからも質問。

「日本の勉強は楽しいですか？」

男子「つまらない！」 女子「楽しいじゃん！」 って・・・色々な意見が。

あつという間に仲良くなつて話が尽きない楽しい時間になりました。

最後は皆が「カンボジアに行つてみたい！」と言ってくれて嬉しかったです。



LINEの前に殺到して話す6年生

8月10日（水）

川口市民パートナーステーション

夏休み特別教室

【世界の子供とSDGS】

外国のお話して小学生の自由研究のお手伝い。1年生から5年生まで25人程の子が集まってくれました。

学校も学年も違うので少し緊張気味のスタート。それでもクイズが始まると元気に発言してくれました。

カンボジアの概要から説明。飛行時間、時差、人口、大きさ・・・

私「カンボジアで有名なものは？」

小学生「パン！」

私「パンはそれほど有名ではありません。食べ物で有名なあのテーブルにあるコショウ。行くところでは？」

小学生「お城！」

私「近い。アンコールワットとお寺。これは世界中で有名です」

私「お正月は何回あるでしょう？」

小学生「何回って？・・・11回？」

私「ほぼ毎月？お年玉が大変。答えは三回です。1月は世界のお正月。

カンボジアには先祖が中国人って人が多いので2月は中国の旧正月を祝います。そして4月はカンボジアのクメール正月があります」

私「ではカンボジアの新学期は？」

小学生「暑いから8月！」

私「11月です。日本は4月ですが、世界的には4月が新学期というのはとても少ないんです」

そして学校についても説明。「カ

ンボジアの学校は午前か午後の半日しかありません。昔の戦争で学校が壊されてしまい、先生も亡くなってしま、今でも学校と先生が足りないんです」戦争に対して敏感な時期、多くの子が真剣に聞いてくれました。

「時間割もちよつと違います。国語と算数がとても多く、社会の中に音楽、図工、家庭科が含まれています」

小学生「へー 私たちと違うんだ」

この後、SDGSの勉強をしてから、カンボジアの子ども達に渡すア

クセサリーを作りました。私が10月に持つて行く予定です。「またやつてほしい」との声が嬉しかったので

次回は冬休みイベントを開催します。



25人の小学生が楽しく自由研究